

令和3年3月 発地別延べ宿泊者数割合

(単位：人泊、%)

【国内】

	県内	過去同月比	福岡県	過去同月比	その他九州	過去同月比	四国	過去同月比	中国	過去同月比	近畿	過去同月比	中部	過去同月比	関東	過去同月比	東北・北海道	過去同月比	国内計	過去同月比
2018年3月（確報値）	50,132	78.4	96,713	81.0	58,626	58.5	10,634	39.7	28,370	46.7	37,428	55.0	17,339	54.9	56,432	53.6	6,557	34.4	362,231	64.1
2019年3月（速報値）	57,555	68.3	91,178	85.9	55,490	61.8	10,383	40.7	29,443	45.0	37,238	55.3	18,460	51.6	51,437	58.8	7,368	30.6	358,552	64.7
令和2年3月（速速報値）	26,375	149.0	80,549	97.2	36,475	94.0	4,137	102.1	16,399	80.9	23,857	86.3	10,139	93.9	30,254	100.0	2,768	81.4	230,953	100.5
令和3年3月（速速報値）	39,303	—	78,331	—	34,280	—	4,223	—	13,262	—	20,596	—	9,524	—	30,261	—	2,254	—	232,034	—

(単位：人泊、%)

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和3年2月（速速報値）	27,415	38,347	17,429	2,009	5,298	9,650	4,641	15,835	1,247	121,871
令和3年3月（速速報値）	39,303	78,331	34,280	4,223	13,262	20,596	9,524	30,261	2,254	232,034
前月比	143.4	204.3	196.7	210.2	250.3	213.4	205.2	191.1	180.8	190.4

【国外】

(単位：人泊、%)

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和2年3月（速速報値）	173	97	469	19	11	1,505	613	2,887
令和3年3月（速速報値）	*	*	*	*	*	*	*	1,560
国・地域別シェア	*	*	*	*	*	*	*	100.0
前年同月比	*	*	*	*	*	*	*	54.0

*発地別宿泊者数は、サンプル数が過小のため表示しない

(単位：人泊、%)

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和3年2月（速速報値）	*	*	*	*	*	*	*	853
令和3年3月（速速報値）	*	*	*	*	*	*	*	1,560
国・地域別シェア	*	*	*	*	*	*	*	100.0
前月比	*	*	*	*	*	*	*	182.9

*発地別宿泊者数は、サンプル数が過小のため表示しない

【全体】

	合計
令和2年3月（速速報値）	233,840
令和3年3月（速速報値）	233,594
前年同月比	99.9

※R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(186施設)に変更しました。

この変更に伴い、R2年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。

※発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

出典：大分県観光統計調査

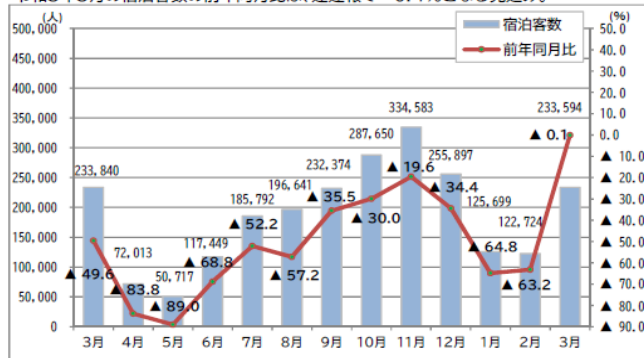
<傾向・分析>

- ・国内の延べ宿泊者数は前年同月比100.5%。前年3月より新型コロナウイルス感染症の影響が出始めたため同水準となる。
一方、前々年同月比、前々々年同月比は共に約64%となっており、コロナ禍前の状況からは依然戻っていないことがわかる。
- ・前月比は190.4%と国内全域において増加。2月～3月にかけて新型コロナウイルス感染者数が一時的に落ち着き、10都府県での緊急事態宣言が解除された事等が要因と考えられる。
- ・県内の宿泊者数は前年同月比・前月比共に増加。「新しいおいた旅割」等の影響と考えられる。
- ・国外の延べ宿泊者数は前年同月比の54.0%となっている。新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの国で海外渡航制限等の措置が継続中。
- ・全体の延べ宿泊者数は前年同月比の99.9%。

令和3年3月の宿泊客等の動向 (令和2年3月～12月速速報、令和3年1月～3月速速報)

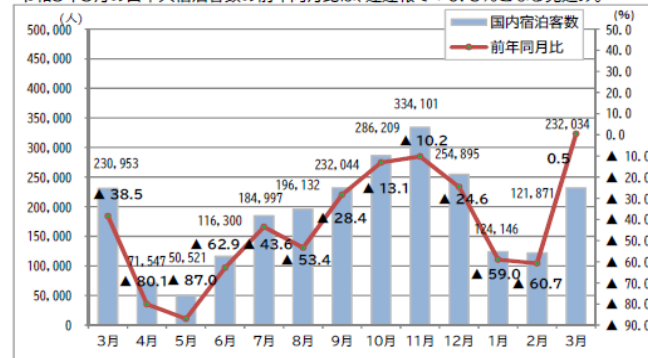
(1) 宿泊客の動向

令和3年3月の宿泊客数の前年同月比は、速速報で-0.1%となる見込み。



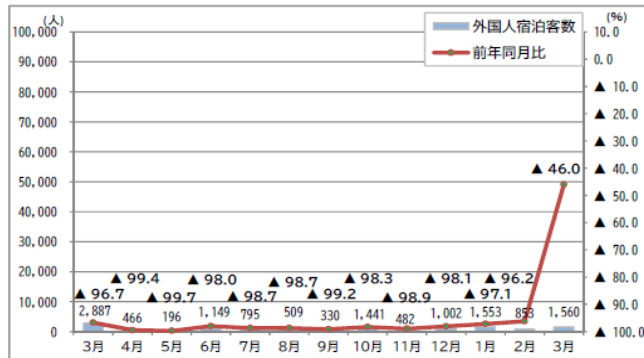
(1)-①日本人宿泊客の動向

令和3年3月の日本人宿泊客数の前年同月比は、速速報で+0.5%となる見込み。



(1)-②外国人宿泊客の動向

令和3年3月の外国人宿泊客数の前年同月比は、速速報で-46.0%となる見込み。



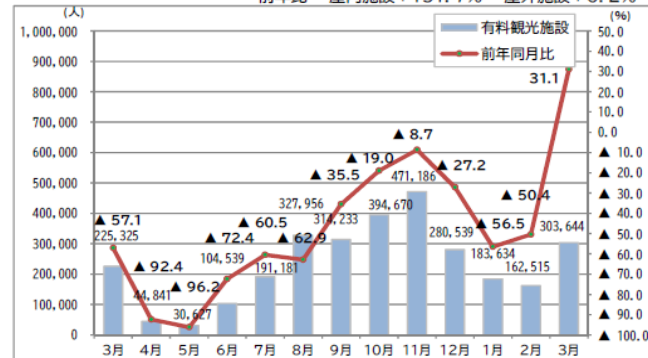
※R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(186施設)に変更しました。この変更に伴い、R2年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。]

(2) 有料観光施設(入場客)の動向

令和3年3月の有料観光施設(入場客)の前年同月比は、速速報で+31.1%となる見込み。

(調査対象施設30施設)

前年比 屋内施設+151.7% 屋外施設+6.2%



※観光施設の対前年比は、休業業・未提出施設を除いて算出しているため、過去に公表している値と比較すると一致しない場合があります。

出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- ・日本人宿泊客は、令和2年3月に政府による臨時休校要請に伴う休校等が実施され、旅行機運も低下。4月には全国で緊急事態宣言発令、5月まで継続された。結果、5月は前年比13.0%と最小を示した。その後、上昇に転じるも、お盆休みの時期における帰省や旅行を控えたこと等により、8月は前年比46.6%と再び減少した。その後、11月が前年比89.8%まで増加したが、12月に新型コロナウイルス感染者の増加と、GoToトラベル一時停止、令和3年1月・2月は加えて一部都府県で緊急事態宣言発令で減少に転じた。その後2月末に6府県、3月21日に1都3県の緊急事態宣言が解除となったほか、県内向け「新しいおおいの旅割」等の影響で3月は増加に転じる。
- ・外国人宿泊客は、令和2年3月に前年比3.3%と大きく減少。4月以降観光目的の宿泊客数はほぼゼロとなり、令和3年3月まで続いている。
- ・全体においては、インバウンドの回復がない中、国内宿泊者の動きがそのまま反映されたかたち。